



ユネスコ記憶遺産へ本格始動



下関での共同推進会議



川越大会の様子



川越大会パレードの様子

目 次

- はじめに NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・1
 - ＜縁地連の活動＞
- 「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 川越」を終えて
 - 埼玉県 川越唐人揃いパレード実行委員会・・・3
- 朝鮮通信使を記憶遺産に登録するための取り組み状況について
 - 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会事務局・・・7
 - ＜各地域の活動＞
- 「俳句のまち白山市」の礎を築いた加賀の千代女 石川県 白山市・・・15
- 日韓50周年祝賀と世界記憶遺産キャンペーン第5次朝鮮通信使ウォークの特色
 - 埼玉県 21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会・・・17
- 「21世紀の朝鮮通信使日韓トップ囲碁対局・輓」について
 - 広島県 福山市・・・21
- 平成27年度朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会開催地「大垣」
 - 岐阜県 大垣市・・・22
- おいでませ！自然と歴史と人が織りなす交流都市下関へ
 - 山口県 下関市・・・24
- 人と自然が織りなすしあわせ実感都市瀬戸内 岡山県 瀬戸内市・・・26
- ＜おしらせ＞
- 2015朝鮮通信使祭り（釜山） 財団法人 釜山文化財団・・・27

- 編集後記「小さな島の大きな挑戦！」 NPO縁地連事務局・・・28
- 会員名簿 ……30

はじめに

春風香る季節となりました。緑地連会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。緑地連がNPO法人に移行して初めての「緑地連だより」となります。現在、緑地連が1丁目1番地として取り組んでおります「ユネスコ記憶遺産の登録活動」についてもこの紙面を利用させていただきご報告させていただきたいと思っております。



私もNPO法人朝鮮通信使緑地連絡協議会の理事長として、決意を新たに取り組んで行くと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

先ずもって、昨年11月の第21回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 川越です。川越唐人揃いパレード10周年ということもあって、江藤実行委員長・小川事務局長をはじめとするメンバーの方々や、釜山文化財団等関係機関各位のご尽力により、素晴らしい大会となりました。久しぶりの民間団体主催によるものでしたが、大成功となり、まさしく手作りでこころ温まる大会でした。皆様の熱意に万雷の拍手を送るとともに、心より感謝を申し上げます。

次に、朝鮮通信使をユネスコ記憶遺産に登録する事業についてです。この活動に対して、多数の会員皆様から温かいご寄付を頂戴いたしました。おかげ様をもちまして何とか2014年度の事業を行える資金を確保することができました。厚く御礼申し上げます。2015年はいよいよ記憶遺産事業の山場を迎えます。日本推進部会、日本学術委員会のメンバーともどもユネスコに認めていただける申請書を完成させることを最重要事項と位置付け、不退転の決意を持って事業を推進しております。しかしながら、これまで活動内容の情報を詳細にお知らせすることが十分できませんでした。資料リストを公開できない状況にあったためではありますが、深くお詫び申し上げます。今後は十分な情報公開ができるよう努めるとともに、広報活動にも力を入れたいと思っておりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日韓の両国政府は、諸問題により雪解けの兆しはまだ見えてきません。この閉塞感を打破できるのは平和遺産である朝鮮通信使なのです。「誠信交隣」の精神を広め、民際

交流を拡大するのです。今年は日韓国交正常化50周年の年です。全国各地で記念のイベントが開催されます。縁地連としても日韓友情ウォークの会の第5次ウォーク、また東京・ソウルで開催される「日韓交流おまつり」での朝鮮通信使行列の再現等、諸事業に支援していきます。逆風に立つライオンのごとく、縁地連が、日韓交流の先頭に立ち今年を盛り上げていこうではありませんか？



対馬厳原港まつり国書交換式

結びに皆様のご健勝ならびに益々のご活躍を祈念いたしまして、ごあいさついたします。今年は大垣でお会いしましょう。

2015年3月

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
理事長 松原 一 征



下関市馬関まつりの折 夕食会

「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 川越」を終えて

実行委員会事務局長 小 川 満



江藤会長の開会挨拶



チョンシンへ舞踊団



幸町囃子会

2014年11月8・9日に初めて関東で行われた全国交流会が無事成功裏に終わることができ、縁地連事務局を始め会員の皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げます。市民中心の運営でいろいろ行き届かない点も多く不愉快な思いをさせたかも知れませんがどうぞご寛恕ください。

さて、今回は初めての関東での開催ということで、世界遺産登録にむけ朝鮮通信使にあまりなじみがない関東の人たちへの絶好の発信の場と考え準備を進めました。テーマを「川越から世界へ～信（よしみ）を通わす2日間」として、釜山文化財団からの全面的な協力のもと、「南山ノリマダン」と「チョンシンへ舞踊団」を招待して市民交流を盛り上げてもらいました。

また、メディアも関心を寄せ、韓国のKBSテレビも11/9のワールドニュースに取り上げ（1/1の日韓関係の特集でも川越のパレードが再度取り上げられました）、新聞各紙も大きな紙面を割き、縁地連総会での「川越宣言」も新聞記事になりました。

11月8日（月）、縁地連の理事会・総会の後、川越市市民会館の大ホールで全国交流会が開かれ韓国や全国からの会員、そして市民など500名ほどが来場しました。ロビーでは、ゆかりのまちの観光展や物産展、朝鮮通信使随行画員展や日韓の友情ウォークやユース通信使の写真展などが行われました。ステージでは開会行事のあと、高麗文康第60代高麗神社宮司が「東国武蔵の民際交流」と題して記念講演を行ない、参加者をうなずかせていました。



NPO法人縁地連の総会



ゆかりのまちの観光展・物産展

その後の日韓市民文化交流では、まず釜山のチョンシンへ舞踊団の華麗な踊りと南山ノリマダンの獅子踊りも交えたサムルノリに会場が沸き立ちました。一方、日本からは「川越唐人揃いものがたり」をテーマに在日の韓国伝統舞踊家・趙寿玉氏の舞い、江戸時代から350年続いている川越祭りに参加している地元幸町のお囃子や獅子舞、ひよっこ・おかめの掛け合いやミニ唐人揃いパレード、そして地元高校生の合唱が披露され、最後は全員で大会歌「アゲイン」を合唱し幕を閉じました。構成も江藤実行委員長の手によるもので、司会も実行委員が務めまさに手作りのステージでした。

市民会館での全国交流会の後は、川越プリンスホテルでの交流晩餐会で150名を超える参加者で、座席もくじ引きという川越スタイルで少々ばたばたしましたが、まずは楽しく交流できたのではないかと思います。



趙寿玉氏の伝統舞踊



最後のアゲイン合唱

翌9日（日）はどんよりとした曇り空、予報では雨振りでした。午前、フィールドワーク参加者45名はバスで高麗神社と聖天院を見学。案内人の車中での熱のこもった説明を堪能されたのではないかと思います。当日の関東は雨のところが多く、各地で雨が降り今日のパレードは中止ですかと問い合わせがありましたが、何と川越は大丈夫でした。

パレードは蓮馨寺の境内で12時に開会式を行ってから出発。朝鮮通信使の行列20名を中心にして、20団体約500人がパレードしました。当初、「縁地連」のグループを作って参加してもらおうと考えましたが、帰りの時間などで残念ながらパレード参加はならずみなさん見学にまわったようです。

今年の参加団体は例年のようにアイヌやエイサーのチーム、朝鮮学校やタイ人クラブをはじめ、「多文化」を基調にしたものに加え、日韓の大学生が10日間相手国の通信使の道をたどるユース通信使のメンバーも参加し活気づけてくれました。

パレードの先頭は南山ノリマダンとチョンシンへ舞踊団、そして今回は縁地連事務局長の阿比留氏に対馬藩士として正使を先導してもらいました。正使役は毎回在日の文化人などをお願いしていましたが、今回は川越のパレードを行うときに衣装作成などでお世話になったソウルの培花女子大学の蔡京希教授が快く引き受けていただきました。

パレードは片道600m（内400mが蔵造り通り）を往復し、帰路は3ヶ所のパフォーマンス会場に分かれて各団体が踊りなどを披露しました。真ん中のB地点では、例年のように「国書交換」に倣った「交流セレモニー」が行われ、ホスト役の榎本弥左衛門（江戸時代の川越商人、1655年の朝鮮通信使を江戸で見学、記録に残す）と正使役との間でプレゼントの交換を行っています。今年は、正使からは「書」を、弥左衛門からは「地ビール」と川越名産の「サツマイモ」がそれぞれ贈られました。楽しい交流のパフォーマンスでした。その後「餅撒き」ならぬ韓国の飴などを沿道の観客に撒いてセレモニーは終わりました。

沿道には多くの観客が集まり、パレードとパフォーマンスを楽しんでいました。今年は埼玉弁護士会と毎年交流を続けている仁川弁護士会の人たち20数名も見学されたようです。



パレードの様子

2時半に各地点ともパフォーマンスを終え、復路をパレードして蓮馨寺に戻りました。そこで閉会式をしてみんなで輪になって踊り、鐘楼の前で記念写真を撮って第10回の唐人揃いパレードが終了しました。何と雨は降らずに無事終了しました。奇跡としか言いようのない幸運でした。釜山から舞踊団を招いているので雨だったら衣装や太鼓もありパレードは無理でしたが、今年も天は味方をしてくれました。2005年の初回から一度も雨天で中止になることなく続いてきました。私たちは、蓮馨寺・川越氷川神社・高麗神社が後援しているしカトリックも参加している、これだけ神仏の加護をうけているイベントはないよね、と笑い合いました。



川越衆の面々



最後は大きな輪で「ふるさと」と「アリラン」の大合唱

パレード終了後、いつものように蓮馨寺の講堂で打ち上げをしました。釜山の2団体は、午後のパレードと3ヶ所すべてのパフォーマンス会場で公演してもらったのでヘトヘトだったと思いますが、参加していただき2次会のカラオケでも大いに盛り上がりました。

翌日、釜山の人たちを高麗神社に案内し、再会を約して別れました。昨日がこんな天気だったらなあというほどの晴天でした。見送ったあと代表の江藤と私は軽トラックで後片づけに精出しましたが満足感と解放感で一杯でした。

今年は第11回目の唐人揃いパレードになりますが、毎回バージョンアップを考えています。今年も実行委員みんなで日韓・日朝の友好と多文化共生につながるパレードを作り上げたいと思っています。(2015年11月15日(日)開催予定)

*全国交流会に間に合わそうと私たちがまとめた『こんなにも深い埼玉と韓国・朝鮮の歴史』(定価1500円税別・新幹社)が書店でも求められます。よかったらお読み下さい。(ご連絡いただければお送りします)

*全国交流会と唐人揃いパレードを記録したビデオが完成しました。韓国のKBSニュースを含む全国交流会が12分、唐人揃いパレードが18分、計30分のビデオです。川越高校放送部が製作してくれました。1枚500円(送料100円)でお分けします。

朝鮮通信使を記憶遺産に登録するための 取り組み状況について

報告：朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産
日本推進部会事務局

朝鮮通信使を記憶遺産にするための活動を日韓の民間団体であるNPO縁地連と釜山文化財団で取り組んでいます。2014年度における活動状況について報告いたします。



長浜市での朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会発足式

1. 基本事項

○申請者

日本側：NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会（以下、縁地連）

韓国側：財団法人釜山文化財団（釜山市外郭団体、以下、文化財団）

○申請時期等

2016年3月にユネスコへ共同申請。

2017年6月決定予定。

※なお、文科省からの3月2日国内公募要領が出されていますが、多国間の共同申請は直接ユネスコへ申請できることを確認していますのでご安心ください。

2. 推進体制

昨年の3月に釜山で協議した内容をもとに、縁地連内に「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会」（以下「推進部会」）を設置いたしました。当初は、対馬市、下関市、長浜市、壱岐市、近江八幡市の5市に加えて、長崎県をオブザーバーとして2014年5月21日に長浜市で発足しました。

現在では、参加団体が増え、次のメンバーで組織しています。

(2015年3月末現在)

○日本推進部会のメンバー：12市町、3民間団体

<自治体>

対馬市、下関市、長浜市、壱岐市、近江八幡市、静岡市、瀬戸内市、福山市、呉市、京都市、上関町、日光市

<民間団体>

芳洲会（長浜市）、朝鮮通信使対馬顕彰事業会（対馬市）、
蘭島文化財団（呉市）

<オブザーバー（県レベル）>

長崎県、（山口県、滋賀県、福岡県が27年度から参加予定）

○部会役員 部会長：縁地連 松原一征 理事長

副部会長：下関市 中尾友昭 市長

事務局長：縁地連 阿比留正臣 事務局長（対馬市役所）

顧問：日本イコモス国内委員会 西村幸雄 委員長

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会規約

(名称)

第1条 本会は「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会」（以下「本部会」とする）と称する。

(目的)

第2条 本部会は朝鮮通信使縁地連絡協議会（以下「縁地連」とする）内に置かれ、朝鮮通信使関連資料をユネスコのユネスコ記憶遺産に登録するための申請準備事業を中心となって行う。

(事業)

第3条 本部会は、前条の目的を達成するため縁地連の指示を受け、次の事業を行う。

- (1) 韓国における朝鮮通信使ユネスコ記録遺産推進委員会との協議
- (2) 朝鮮通信使関連資料の調査と整理
- (3) 諮問機関として学術委員会を設置し、申請内容の検討依頼
- (4) 国際シンポジウム等国際会議の開催
- (5) 文部科学省等国の機関との連絡、調整及び協議
- (6) 朝鮮通信使交流議員の会との連絡、調整及び協議

- (7) ユネスコ記憶遺産申請書のとりまとめ
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

(構成員)

第4条 本部会は趣旨に賛同する団体の代表者と縁地連の理事長及び事務局長をもって構成し、部会長の判断によりオブザーバー・顧問を置くことができる。

(役員)

- 第5条 本部会に部会長と副部会長を置く。
- 2 部会長は、縁地連の理事長をもって充てる。
 - 3 副部会長は、部会長が指名する。
 - 4 部会長は、本部会を代表し、会務を総理する。
 - 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理する。
 - 6 役員の任期は2年とする。

(事務局)

第6条 本部会の事務局は、対馬市役所内に置く。

(会議)

- 第7条 本部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。
- 2 会議は、必要に応じて開催する。
 - 3 構成員は、部会長に対し、会議の招集を要請することができる。

(予算措置)

第8条 本部会の運営に必要な経費は、縁地連からの助成金（構成員の負担金又は補助金）及び賛同者の助成金・寄付金等をもって充てる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、本部会の運営に関し必要な事項については、部会長が別に定める。

(附 則)

この規約は、平成26年5月21日から施行する。

同年6月23日には、推進部会の諮問機関である「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会」（以下「学術委員会」）を発足しました。委員の方々は次のとおりです。

○委員メンバー	委員長：仲尾 宏	朝鮮通信使地域史研究部会部会長
	副委員長：町田 一仁	下関市立考古博物館館長（学芸員）
	委員：貫井 正之	東海地方朝鮮通信使研究会代表
	委員：倉地 克直	岡山大学教授
	委員：佐々木悦也	長浜市観音の里資料館副参事（学芸員）
	委員：齋藤 弘征	対馬市文化財保護審議会会長
	オブザーバー：北川 英一	長崎県立対馬歴史民俗資料館館長
	顧問：上田 正昭	高麗美術館館長

3. 活動状況

◆日本推進部会



2014年度は3回の部会開催となりました。協議内容は次の事項を協議し、決定しています。

- 規約の決定
- 2014年度事業計画と収支予算の決定
- 名称を「朝鮮通信使」で統一することについて
- 朝鮮通信使の対象回数を江戸時代の12回とすることについて
- 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会への諮問事項について
- 2015年度の予算案と負担金について
 - ・2015年度の負担金は、30万円×2年分（2016分の前倒し）で60万円とし2016年度は負担金無し。2015年度に前倒しして負担出来ない場合は、2016年度も30万円。2014年度～2016年度の3ヵ年×30万円の90万円を枠で考える。
- 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会に加盟していない自治体の資料の取り扱いについて
 - ・国書等ユネスコ申請にどうしても必要な史料以外は、推進部会に加盟していない自治体の資料はリストへ搭載しない。（管理保存計画が作成できない）
 - ・推進部会加盟の期限は2014年12月末。
 - ・これから参加する自治体も3年間90万円を基本に考える。
 - ・2015年1月以降に参加したい自治体が現れた場合は、推進部会にて協議する。



長崎市での日韓共同代表者・学術会議

◆日本学術委員会

主な活動内容は、ユネスコへ提出する申請書の作成です。まずは日本側における資産リストの作成がなにより重要な業務となります。次に「概要」と呼ばれる「朝鮮通信使」全体の説明文です。これは、英語の200ワードで表現しなければならないというルールがあり、非常に困難です。これにつきましては、韓国側とすり合わせ協議を行いながら作成します。説明し易くするために3つのジャンルも設けました。

○申請資料のジャンル

- A 外交使節としての通信使公式文書類（国書・謄録）
- B 道中の記録（日記・関連資料等）（行列絵巻・図面・接遇関係資料）
- C 文化交流の遺品・関連資料（漢詩集、筆談記録など）

このジャンル内容に沿って、説明文を作成し、また、リスト構成も行っていきます。また、リスト一つ一つの説明文も必要になってきます。4月末には資料リストが決定しますが、来年度の作業も膨大な時間と労力を必要とするのです。

▼資料リストはまだリスト搭載の承諾をいただいていないため後日お知らせしますが、現時点での各市の登録予定数をお知らせします。（3月20日現在。今後、福岡の資料等が追加される予定）

対馬市：5点、下関市：17点、長浜市：23点、壱岐市：1点、

近江八幡市：3件、静岡市：49点、瀬戸内市：9点、福山市：6点、

呉市：1点、京都市：3点、上関町：1点、日光市：2点、国書：26点

ちなみに韓国側は使行録、筆談唱和集をメインに105点をリストアップしています。

今年、学術委員会を中心に会議を開催していますが、韓国側との「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同推進会議」、「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同代表者会議」「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議」を開催し、申請書作成の協議を行っています。



釜山市での共同会議



下関での意見交換会

◆その他の活動

そのほか、文科省・外務省への報告と相談。朝鮮通信使交流議員の会（会長川村武雄衆議院議員）への報告と協力依頼。民団中央本部、読売新聞、NHK等関係機関への協力依頼を実施しています。



下関市での共同会議



長崎市でのシンポジウム



河村会長へ活動報告

◆事業実施状況は次の一覧のとおりです。

平成26年度ユネスコ記憶遺産日本推進部会事業実施状況

月 日	事 業 内 容	場 所	備 考
5月21日	ユネスコ記憶遺産日本推進部会設立 文科省等関係機関への報告	長浜市	理事会時に同時開催
6月23日	ユネスコ記憶遺産日本学術委員会設立	神戸市	
8月 8日	第2回推進部会	京都市	
8月24日	第2回学術委員会	下関市	概要案・リスト案検討
8月25日	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓合同推進会議	下関市	馬関まつり後
9月16日	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓合同代表者会議	福岡市	
10月 6日	第3回日本学術委員会	大阪市	
10月27日	第3回日本推進部会	岡山市	
11月 9日	第4回日本学術委員会	川越市	縁地連川越大会
12月20日	日韓共同学術会議	釜山市	
1月15日	舞鶴市引揚記念館訪問 申請経緯聴取	舞鶴市	
1月16日	第5回日本学術委員会	岡山市	
1月31日	第2回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓代表者・共同学術会議	長崎市	
2月 1日	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録シンポジウム		リスト一次提出
3月 6日	日韓学術代表者会議	下関市	
3月25日	第6回日本学術委員会	岡山市	

4. 今後の活動予定

今年度は、いよいよ申請書作成の山場を迎えます。予算も2015年度に集中させていただくことを参加自治体をお願いしています。県レベルの参加も増えてきました。少しずつ関心が高まっています。機運を盛り上げ、世論を盛り上げなければなりません。

これまでできなかった広報活動に予算を割くとともに、日韓国交正常化50周年の各イベントで記憶遺産登録について触れていただく予定としています。英訳もしなくてはなりません。申請書はすべて英語です。日本語の微妙な言い回しなどできないのです。

韓国側と納得しあって両団体の代表者が印鑑を捺せる申請書を作らなければならないのです。

以上のような状況を含め、日本推進部会前ですが、次の表が、2015年のスケジュール案です。

平成27年度ユネスコ記憶遺産日本推進部会スケジュール（案）

月 日	事 業 内 容	場 所	備 考
4月中旬	第4回日本推進部会	岡山市	
	日韓学術代表者会議	釜山市	
5月	日韓共同推進会議、日本学術委員会	釜山市	
6月	日本学術委員会	岡山市	
7月	日本学術委員会	岡山市	
8月	日本推進部会、日韓代表者会議	下関市	
9月	日本学術委員会、日韓学術代表者会議	東 京	
10月	日韓代表者・共同学術会議	長浜市	
11月	日本推進部会、日韓代表者会議	大垣市	
12月	日韓代表者会議	釜山市	
1月	日韓共同推進会議	対馬市	
3月	ユネスコ申請		

ご寄付ありがとうございました

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会への寄付金

松原一征(理事長)	様	5,000,000円
-----------	---	------------

ユネスコ記憶遺産登録日本推進部会への寄付金

素木会	様	382,000円
岡山県日韓親善協議	様	100,000円
朝鮮通信使友情ウォークの会	様	30,000円
NPO翔青会	様	10,000円
相島歴史の会	様	10,000円
日韓交流神宮チェビの会	様	10,000円
阿比留正臣	様	15,000円
辛勝義	様	10,000円
田中解子	様	10,000円
高正晴子	様	7,000円
篠崎寅喜	様	3,000円
ニシダヒロコ	様	3,000円
鈴木宏久	様	2,000円
唐子踊保存会 小竹	様	1,000円
安田和幸	様	1,000円
井上美登里	様	1,000円
スギタイサオ	様	1,000円



石川県白山市

(人口 112,665人)

白山市は平成17年2月1日、1市2町5村(松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村)の合併により誕生しました。

白山市は、石川県加賀地方の中央部、県都金沢市の南西部に位置しています。白山(標高2,702m)周辺は、白山ユネスコエコパークや白山国立公園に指定され、また、県内最大の流域面積を誇る手取川、日本海など、およそ2,700mの標高差と環境変化に富んだ市全域が白山手取川ジオパークとして認定されています。総面積は754.93km²であり、石川県全域の18%を占め、県内最大の広さです。



霊峰白山、清流手取川とその扇状地、そして日本海と、四季を通じて豊かな自然の恩恵を享受する本市は、先人から継承する優れた伝統文化や歴史が脈々と受け継がれており、暁烏敏や島田清次郎、加賀の千代女をはじめとする幾多の偉大な先達を輩出するなど、文化の薫り高い都市です。平成20年3月に宣言された「文化創生都市白山」を基本理念として、住民が文化的で潤いのある生活を営むことができるよう、ふるさとの文化遺産を継承しながら、新しい地域文化の創造と振興発展に努めています。

■市の花「あさがお」

俳人加賀の千代女の代表句である『朝顔やつるべとられてもらひ水』は、日本はもとより、広く海外にも知られています。そのゆかりのある朝顔が市の花として制定されています。

■市の木「ぶな」

■市の鳥「うぐいす」



「俳句のまち白山市」の礎を築いた加賀の千代女

女流俳人加賀の千代女は1703年に加賀の国松任に生まれました。「朝顔やつるべとられてもらひ水」の句は、松尾芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」と並んで、日本だけでなく、英語、フランス語、ドイツ語等に訳され、「女詩人チヨ」の作として世界中に知られています。

たおやかな美しさとみずみずしい感性で人気を博した千代女の作品が海を渡ったのは、1764年、徳川十代将軍家治の就任祝いのため、第11次朝鮮通信使が日本を訪れた時です。その折、朝鮮国王への土産物の一つとして、千代女が染筆した21句（掛物6幅と扇子15本）が献上されています。

日本文学史上、このような形で俳句が海外に紹介された事例は稀有で、千代女の作品が国際交流上、多大な貢献をしたことは言うまでもありません。

白山市では、千代女を顕彰するとともに、「俳句のまち白山市」を推進するため、平成17年に千代女の里俳句館を建設し、全国俳句大会や少年少女全国俳句大会など各種活動を積極的に行っています。



千代女の里俳句館

朝鮮通信使行列絵巻(千代女の里俳句館前)
※原画は挿絵画家西のぼる氏による

朝鮮通信使献上句碑



日韓50周年祝賀と世界記憶遺産キャンペーン 第5次朝鮮通信使ウォークの特色

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会
会長 遠藤 靖夫

2007年に第1次のウォークを実施してから早いもので5回目の節目を迎えることになりました。ソウル-釜山の距離（525キロ）以上を歩く隊員を「本隊員」と定義していますが、第5次の日本側の本隊員編成は33人（うち1人はスタッフ）と目標の30人を超えることができました。

今回は4月1日スタートから5月22日の東京ゴールまで公式期間が52日間。前後の日数を入れると56日間になります。家族の余程の理解がないとこれだけの長期参加は無理というもので費用だって馬鹿になりませんから、よくまあメンバーがそろったもんだと感心しています。

2年おきの開催で毎次、準備に1年半ほどかけています。毎月1回開催の幹事会メンバーが手分けして任務をこなします。この幹事たちはウォークも毎回参加して隊の中核を担いますが、そんな「全員野球」だからこそこまでやって来れたのだと思っています（その半面、高齢化が大きな悩みです）。韓国側のパートナー、韓国体育振興会とは、江戸時代の朝鮮通信使来日回数にちなんで「12回開催」を約束しています。今年が終わってもまだ7回も残っていて、第12次ウォークの開催は2029年。「あなた、それまでやれるの？」と問われたら、「…」と下を向くしかありません。

閑話休題のような前置きが長くなりました。第5次も日本人、在日韓国人と韓国人で編成したウォーク隊（本隊の日韓メンバー40人前後）が愚直に1歩ずつ、東京を目指して歩くその基本形に変わりはありません。

そうした中で過去4回の旅と異なる点を紹介します。

5回目の節目に当たる、ということで初めて壱岐をコースに入れました。4月24日早朝、対馬から芦辺港に入港。郷ノ浦の市役所まで13キロほど歩いて市長を表敬訪問します。前日の23日は日本上陸第1歩の対馬市役所でもいつものように歓迎会に臨みます。ここでのセレモニーでは「ユネスコ記憶遺産登録」推進キャンペーンの幟（のぼり）を託されることになります。昨年11月、川越での縁地連総会で私が提案、松原理事長がOKした案件です。壱岐市から始まりコース沿道上の自治体にこの幟を贈呈しながら歩いて、記憶遺産登録実現へ少しでもウェーブを起こせたら、と願っています。

ということで、緑地連加盟自治体の関係者のみなさん、緑地連のこの幟をしっかりと受け取って下さい。その際、出発式などに出席していただいた首長さん（とは限りませんが）が短い距離でも一緒に歩いてもらえればPRにもなるのではないのでしょうか。市民にも参加してもらえたらもっと盛り上がるでしょう。もちろん、第5次隊の私たちも「記憶遺産PR幟」を立ててソウル-東京間を歩きますし、日韓国交正常化50周年を祝賀する幟も新たに加えます。祝賀と記憶遺産キャンペーンは第5次ウォークの特色であり、使命であると思っています。

第4次で韓国人隊員たちが「思い出のNo.1」にあげた、呉市・下蒲刈小児童たちとの交流は蘭島文化財団の柴村博事務局長の尽力で実現したのですが、今回も引き続いてお願いするつもりです。日韓じじばば合唱団で「アリラン」でも披露しようかな、と想を練っています。

初めて「ホームステイ」が実現するのが岐阜県・垂井町。第4次では朝鮮半島から伝わった、という雅楽などの演奏で接待してくれましたが、「2年後はぜひホームステイを」という地元からの声に応えたものです。体験するのは韓国人隊員だけですが、ゴール後には日韓の全隊員と地元のみなさんとで「交流夕食会」をすることになっています。公共の施設で、手料理を持ち寄って、という計画ですが、まさに草の根交流で楽しみにしています。

2015年は徳川家康没後400年。静岡県では各種の「顕彰400年祭」が企画されており、その中での朝鮮通信使ウォーク「静岡入り」というわけで、期待度が強いようです。交流日の5月16日は静岡市役所前のイベント広場で私たちを迎えての歓迎行事が予定され、プログラムの一つにソウル市長親書の静岡市長への伝達式なども検討されているようです。また、静岡県ウォーキング協会が私たちと一緒に県内を「徳川家康顕彰リレーウォーク」でつなぎ、各地の朝の出発式で地元市長へ記憶遺産キャンペーン幟を贈呈していく計画も練っています。

第5次隊は、平均年齢70歳に近い集団ですが、日韓国交正常化50周年の年に「朝鮮通信使の旅」を再現できることは望外の喜びです。

ご声援をよろしく申し上げます。



2013年 対馬市役所前にて



第5次 21世紀の朝鮮通信使 ソウルー東京 友情ウォーク 2015年4月1日 ~ 5月22日(52日間)



2015年は日韓国交正常化50周年になります。その前、日本が韓国を併合する不幸な過去がありますが、さらにさかのぼると友好と平和の長い時代があったのです。そのシンボルが江戸時代に12回来日した朝鮮通信使。「通信」は両国が信(よしみ)を通わず、平和外交をあらわします。



500人近い朝鮮の大使節団が8ヶ月から1年かけてソウルから江戸(東京)を往復。行列を見ようと日本では沿道に人々が集り、その衣服に目を見張り、音曲に酔い、文化交流の証として九州から東北までの各地に書、詩、絵巻、人形、祭りなどの遺産が残りました。

私たちは先人の足跡を再現することで、「善隣友好」をいまに甦らせたいと2年に1度、朝鮮通信使がたどった道(ソウル~東京、2000キロ)を歩いています。公募の日本人、韓国人、在日韓国人で編成する「21世紀の朝鮮通信使」友情ウォークです。

5回目になる第5次隊は、2015年4月1日にソウルを出発、5月22日に東京へゴールします。



1日だけのデリー隊員、大歓迎です。
一緒に歩いて「日韓交流」をしませんか!

- 主催：(社)日本ウォーキング協会、(社)韓国体育協会 (NPO)朝鮮通信使縁地連絡協議会
- 主管：21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会
- 後援：在日本大韓国民団、(社)釜山文化財団 日本レクリエーション協会 朝日新聞社、共同通信社、東亜日報社 辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール

【090-9677-7229】
「21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会」
連絡 事務局長 中村 進
先 email: su-nakamura@sb.dcms.ne.jp
【歩行中であかりにくいことがあるかも知れません】

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kanai4655/>
開設中! 朝鮮通信使ウォーク 検索



大阪 ～ 東京 日程表

日付	出発	時刻	到着	時刻	距離
～4月28日(火)	ソウル～釜山～対馬～杵岐～呉～鞆の浦～牛窓 4/1 4/21 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27		大阪 大阪城	15:00	
第29日 4月29日(水)	大阪 大阪市役所 淀屋橋駅1分	8:00	枚方 京阪枚方市駅	17:00	28
第30日 4月30日(木)	枚方 京阪枚方市駅中央口	8:00	京都 京都三条大橋川原	17:00	31
第31日 5月1日(金)	京都・交流日				
第32日 5月2日(土)	京都 京都三条大橋川原 東西線三条京阪駅、京阪三条駅1分	8:30	草津 JR草津駅	17:30	27
第33日 5月3日(日)	草津 JR草津駅東口	8:00	近江八幡 近江八幡市役所	17:00	23
第34日 5月4日(月)	近江八幡 近江八幡市役所 JR近江八幡駅北口10分	8:00	彦根 彦根市役所	17:00	27
第35日 5月5日(火)	彦根 彦根市役所 JR彦根駅西口5分	8:00	垂井 JR垂井駅	17:30	34
第36日 5月6日(水)	垂井 JR垂井駅北口	8:00	尾張一宮 JR尾張一宮	18:00	37
第37日 5月7日(木)	尾張一宮 JR尾張一宮駅西口	8:00	鳴海 名鉄鳴海駅	18:00	37
第38日 5月8日(金)	名古屋・交流日				
第39日 5月9日(土)	鳴海 名鉄鳴海駅	8:30	岡崎 名鉄東岡崎駅北口	17:30	29
第40日 5月10日(日)	岡崎 名鉄東岡崎駅北口	8:00	豊橋 JR豊橋駅	17:30	33
第41日 5月11日(月)	豊橋 JR豊橋駅東口デッキ	8:00	弁天島 JR弁天島駅	17:00	26
第42日 5月12日(火)	弁天島 JR弁天島駅	8:00	天竜川 JR天竜川駅北口	17:00	25
第43日 5月13日(水)	天竜川 JR天竜川駅北口	8:00	掛川 JR掛川駅	17:30	25
第44日 5月14日(木)	掛川 JR掛川駅北口	8:00	藤枝 藤枝・ホテル富岡屋	17:30	31
第45日 5月15日(金)	藤枝 藤枝・ホテル富岡屋 JR藤枝駅北口バス8分上伝馬	8:00	静岡・清水 JR清水駅	18:00	36
第46日 5月16日(土)	静岡・交流日				
第47日 5月17日(日)	静岡・清水 JR清水駅西口	8:00	富士・吉原 吉原・ ビジネス旅館美波	17:30	32
第48日 5月18日(月)	富士・吉原 JR吉原駅南口前公園	8:30	三島 三島大社(坂公民館)	17:30	31
第49日 5月19日(火)	三島 三島・坂公民館 JR三島駅バス坂小学校前	8:00	小田原 JR小田原駅	17:30	31
第50日 5月20日(水)	小田原 JR小田原駅東口2階デッキ	8:30	藤沢 JR藤沢駅北口	18:30	37
第51日 5月21日(木)	藤沢 JR藤沢駅北口	8:00	川崎 JR川崎駅東口	17:30	33
第52日 5月22日(金)	川崎 JR川崎駅東口	8:00	東京・皇居 皇居・ 日比谷公園《ゴール》	15:00	20

※ 出発時刻、場所、到着時刻、場所は仮予定です。今後、変更することがあります。

- ◆ 期間 2015年4月1日(水)～《韓国》～4月23日(木)～《日本》～5月22日(金) 52日間
- ◆ コース 韓国 : ソウル～忠州～安東～慶州～釜山 22日間 歩行距離 525キロ
日本 : 対馬～杵岐～大阪～京都～名古屋～静岡～東京 30日間 歩行距離 633キロ
- 歩行以外の区間 : 釜山～対馬～杵岐～博多(フェリー) ; 博多～広島～大阪(バス) 約800キロ
- ◇ 歩行距離はIVV認定距離です。 ◇ デーリー隊参加費【1日:500円】 《大学生以下は無料》

「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛」について

21世紀の朝鮮通信使

日韓トップ囲碁対局・靛実行委員会

(福山市教育委員会 文化課)

福山市では、朝鮮通信使ゆかりの靛の浦において、日韓共通文化である囲碁を通じて国際交流を深めるとともに、本市の魅力を広く情報発信し、知名度向上を図るため「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛」を開催しているところです。

当該行事は、2010年度（平成22年度）から、福山市靛の浦を会場として、毎年実施しており、今年度で5回目を迎えます。靛の浦は、万葉の時代から港町として繁栄し、国際的な賑わいもありました。海を通じて善隣友好（ぜんりん ゆうこう）の朝鮮通信使がたびたび寄港され、朝鮮通信使により福禅寺の客殿が「對潮楼」と命名され、そこからの眺めを「日東第一形勝」と絶賛していただくなど、数々の友好の足跡があります。

靛の浦で行事を開催するにあたり、駐広島大韓民国総領事館 総領事や韓国トップ棋士等をお招きし、風情豊かな江戸時代からの町並みがよく残る中で、21世紀の朝鮮通信使として当時のように船からの出迎式を行い、行事に華を添えていただいております。

また、日韓トップ棋士による囲碁対局や、大盤解説会、募集者を公募で募ったトップ棋士との100面打ちなど日韓の幅広い交流となる行事を実施いたしております。

終わりに、朝鮮通信使の歴史を深く刻んだこの靛の浦の地で、本行事が皆様方のご協力のもと、心の通った日韓文化交流となり、今後ますます日韓友好関係が深まる一助となれるよう取り組んで参ります。

2014年(平成26年)10月4日(土)・5日(日)

21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靛



福禅寺・對潮楼(国史跡)



韓国棋士出迎え



トップ囲碁対局

平成27年度朝鮮通信使ゆかりのまち 全国交流会開催地「大垣」

1. 交通の要衝として発展

江戸時代、大垣は大垣藩戸田家十万石の城下町としてだけでなく、中山道と東海道をつなぐ美濃路の宿場町として、また城下の川を通じて太平洋に抜ける水運の拠点港（川湊）として発展し、東西交通の要衝として知られていました。

朝鮮通信使の通行においては、往路復路ともに大垣での宿泊が恒例とされていたほか、俳人・松尾芭蕉も近世紀行文学の傑作とされる『奥の細道』の旅を大垣で終えました。

2. 松尾芭蕉と国名勝「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」

大垣市は、「奥の細道むすびの地」として全国に知られています。

平成26年度は芭蕉生誕370年にあたることから、「松尾芭蕉」「奥の細道」をキーワードに有識者を招いてのシンポジウムや交流事業を開催したところ、多くの方に大垣へ訪れていただきました。

また、平成26年（2014）3月に「大垣船町川湊」が「おくのほそ道の風景地」のひとつとして、国名勝に指定されたことから、同じく国指定名勝に指定された市町と結成した「おくのほそ道の風景地ネットワーク」を通じて、風景地の保存を図るとともに、その魅力を広くPRしてまいりました。



国名勝「おくのほそ道の風景地」大垣船町川



3. 大垣城築城480年を記念したイベントを開催

城下町大垣のシンボルである大垣城は、天文4年（1535）3月、宮川安定が創建したとされており、天下分け目の戦いとして名高い関ヶ原合戦では西軍・石田三成の本拠地となるなど、歴史の表舞台に登場しています。



大垣城

今年、築城480年を迎えることから、平成27年度は大垣城にスポットを当て、シンポジウムや交流物産展を行う「全国城サミット in おおがき」や東海・北陸地方を中心に天守のあるお城21か所を巡る「お城スタンプラリー」を開催します。

4. 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会

昨年埼玉県川越市で開催された朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会を、今年は大垣市で開催します。

大垣の城下町を横断する美濃路の沿線には、大垣の新たな観光・文化拠点として平成24年（2012）春に開館した奥の細道むすびの地記念館があり、その記念館の前を流れる水門川は、朝鮮通信使往来時に三艘の艘立船を用いて船橋を架けたとの記録が残されています。

この界隈は平成26年（2014）3月に国名勝「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」にも指定されました。ほかにも伝統ある大垣まつりに曳き出され朝鮮通信使行列を模したとされる

「朝鮮山車」や美濃路の資料を展示する美濃路大垣宿本陣跡、朝鮮通信使の宿舎となった全昌寺などがあります。

朝鮮通信使も通行した美濃路を巡りながら、当時の様子に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか？



美濃路大垣宿本陣跡

おいでませ！ 自然と歴史と人が織りなす交流都市 下関へ

下関は関門海峡、周防灘、響灘と三方が海に開かれた自然と文化に恵まれた海峡と歴史のまちです。

日本が公家社会から武家社会に転換する契機となった「源平壇ノ浦合戦」に始まり、明治維新の始まりとなった「下関戦争」、明治維新の志士高杉晋作による「功山寺決起」など、日本の歴史が動くとき、いつも「下関」は舞台の中心でした。

また、下関は本州の最西端に位置していたため、古くから大陸や朝鮮半島との陸上・海上交通の要衝でした。

現在も下関港から国際定期フェリーが出港しており、韓国や中国などのアジア諸国の窓口として大きな役割を担っています。

朝鮮通信使使節団一行も本州最初の上陸地でもあった下関に寄港し滞在しました。朝鮮通信使一行が当時宿泊した阿弥陀寺（現在の赤間神宮）前には、「朝鮮通信使淹留（えんりゅう）の地」記念碑が建立されています。石碑の前に立つと命をかけて海峡を渡った朝鮮通信使の姿を偲ぶことができます。

下関では、毎年8月、しものせき三大まつりのひとつ「馬関まつり」において、韓国釜山文化財団と合同で「朝鮮通信使行列再現」と「日韓文化交流公演」を開催しています。



行列再現では、下関市、釜山広域市の総勢約250名が朝鮮通信使の衣装を身に纏い行列に参加し、当時の朝鮮通信使一行の姿を思い浮かべることができます。



日韓文化交流公演では「釜山・下関ふれあいステージ」と題し、下関市と釜山広域市の文化団体による唄や舞踊、ダンス等魅力あるステージが展開され、公演終了後の豪華賞品が当たる「お楽しみ抽選会」、「朝鮮通信使おもてなし料理」の展示など、多くの皆様楽しんでいただいています。

このほか、下関では2014年にリニューアルオープンした国の重要文化財である旧下関英国領事館、昭和を代表する女優田中絹代を顕彰した田中絹代ぶんか館など唐戸地区のレトロモダンな建物群や、幕末、明治維新の舞台となった城下町長府、少し足を延ばして、北長門海岸国定公園のコバルトブルーの海と角島大橋など様々な観光スポットがあります。

また、フグ、うに、クジラなど下関の選りすぐりの食材を使用したフルコース「下関満関善席」は豪華で贅沢な時間を楽しむことができます。

是非多くの皆様の下関へのお越しをお待ちしております。



下関市馬関まつりでの国書交換式

人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

瀬戸内市は平成26年11月1日に誕生10周年を迎えました。今後も「人と自然が織りなすしあわせ実感都市 瀬戸内」の実現に向けて、10年先、そして100年先まで安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。



本蓮寺《国・県指定重要文化財》

朝鮮通信使の接待処となった場所。室町時代に建てられた、本堂・中門・番神堂は国の重要文化財。

当市は岡山県の南東部に位置し、「日本のエーゲ海」ともいわれる瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られています。

また、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでも

あります。中でも市南部に位置する牛窓地域は、「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄え、特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、本蓮寺や御茶屋跡など当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

平成26年も市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ2014」が11月2日に開催され、朝鮮通信使行列が再現されました。それにあわせて、朝鮮通信使派遣の礎を築いた松雲大師生誕の地であり、当市の友好交流市である韓国密陽市からの訪問団を招待しました。朝鮮通信使が伝えた誠心交隣、善隣友好の精神を絶やすことなく次世代に伝えることで、両国の信頼と深い絆が強固なものとなり、両国の交流がより一層深まることを期待しております。朝鮮通信使行列は、平成27年も開催の予定です。会員の皆さんも参加してみませんか。



平成26年行列参加者

2015朝鮮通信使祭り(釜山)

財団法人 釜山文化財団

日 時: 2015. 5. 1 (金) ~ 3 (日)

場 所: 龍頭山公園、光復路一円、釜山市役所、永嘉台など

朝鮮時代、日韓両国の平和と友好増進に寄与した朝鮮通信使の歴史的な意味を継承する「2015朝鮮通信使祭り」が5月1日(金)から3日(日)まで3日間、龍頭山公園及び光復路一円で開催されます。

特に、朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産韓日共同登録を推進し、日韓国交正常化50周年を迎えて開催される今回のお祭りは、市民参加型プログラムを構成して朝鮮通信使を知らせるきっかけにしたいと思っています。

お祭りの期間には龍頭山公園広場で朝鮮通信使をテーマにした「朝鮮通信使登城行列図韓紙人形の企画展示」や市民を対象とする多様な「体験イベント」が行われます。また、1日釜山市役所で「朝鮮通信使国際学術シンポジウム」が開催され、同日夜、龍頭山公園特設舞台では海神祭および文化交流公演が行われる予定です。

2日、1,500人規模の韓日芸術団、市民たちが参加する祭りメインイベントになる「2015朝鮮通信使平和の行列」は、光復路一円を華やかに彩ります。この熱気をそのままひき継いで龍頭山公園特設舞台では「朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産韓日共同登録リスト合意宣言」など祈願式が行われ、市民の願いを含める行事を準備します。



追伸：信頼を通じるまたは、信頼で通じる使節団である朝鮮通信使の意味を生き返らせる朝鮮通信使の祭りを通じて、市民が楽しめる釜山の代表的な歴史文化観光祭りの意味を乗り越え、最近硬直化している日韓両国関係に歴史的意味が感じられる祭りにしたいと思っています。

編集後記

NPO縁地連事務局長 阿比留 正 臣

お世話になっております。今年度は、ユネスコ記憶遺産一色の1年でした。学術委員の皆様のご尽力で着々と申請書リストができています。来年度はなお一層忙しくなりそうです。日韓外交正常化50周年の中心事業として皆さんのご協力をお願いします。

今年も、編集後記として私の寄稿文を掲載させていただきたいと思います。1月1日に民団新聞に掲載されたものです。お許してください。



安倍昭恵夫人と

小さな島の大きな挑戦！

～日韓の架け橋「対馬」の朝鮮通信使の取り組みと計画～

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、皆様は、対馬をご存じでしょうか。日本と韓国との玄海灘に浮かぶ日本で3番目に大きな島です。地理的にも歴史的にも朝鮮半島との関係は深く、江戸時代には釜山に約10万坪の外交施設「倭館（わかん）」を与えられ、朝鮮王朝との外交役として活躍していました。最近では約19万人の韓国人観光客が訪れ、自然と歴史に触れていただき、癒やしの島として人気を博しています。今回はその対馬が、日韓の架け橋として取り組んでいる活動や計画についてご紹介したいと思います。

今年は2015年、日韓外交正常化50周年の年にあたります。この記念すべき年をどのように盛り上げることができるでしょうか？日韓関係が非常に冷え込んでいる中、非常に重要な年となります。交流イベントを盛り上げ、流れを変える年にしなければなりません。昨年の秋ぐらいから潮目は変わりつつあります。何かのキッカケがあれば一気に暖流へと変わるかもしれません。そのキッカケとは何なのでしょう？

皆さんは「朝鮮通信使」をご存じでしょうか？現在、対馬市を中心としたNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会（16の自治体、42の民間団体、108人の個人会員で組織）が中心となり、釜山の財団法人釜山文化財団と共に、朝鮮通信使の関係史料をユネスコ記憶遺産に登録する活動を展開しています。朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会と朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会を内部に組織し、2016年3月にユネスコへ日韓共同で申請する準備を進めています。私たちは日韓の関係を修復する糸口は、この「朝鮮通信使」ではないかと考えています。江戸時代の隣国と争いのない約260年間が続いたのは、この朝鮮通信使が往来したからなのです。平和の象徴と言っても過言ではないでしょう。記念の年を盛り上げる一つとして、事業参加関係団体のご協力を得ながら、申請準備ができるようベストを尽くしたいと思います。

次に、対馬市では5月下旬に日韓国交正常化50周年を祝うイベントを計画しています。対馬と関係の深い日韓の関係者にお集まりいただき、ジェームス三木氏が書き下ろしたミュージカル「対馬物語」を公演し、記念セレモニーや祝賀会を催したいと考えています。「対馬物語」のストーリーは、秀吉の朝鮮出兵の後、対馬藩の藩主「宗義智（そうよしとし）」が関係を修復し朝鮮通信使を招聘するというもので、何回見ても泣けます。（私はすでに4回見て4回泣きました。）



釜山文化財団の朴承桓チーム長 金玄昇氏と
馬関奇兵隊の濱崎氏と

また、ストーリーと言えば小説「韃靼の馬」です。4年前くらいに日経新聞に連載された辻原登（つじはらのぼる）という芥川賞を受賞された先生の歴史小説なのですが、対馬藩と朝鮮通信使をメインとした内容です。対馬市はこれを映画若しくはテレビドラマにできないかと制作会社等に売り込みをしています。まだまだ売り込みが足りないようですが、この小説がドラマ化となりテレビで放映されれば、朝鮮通信使が一気にメジャーとなり、ユネスコ記憶遺産登録の機運も比例して上がると思っています。そうなれば自然に友好関係は戻ってくるのではないのでしょうか。まだ読んでないという方は、是非ご一読いただければと思います。

ただ、問題が一つあります。例の「対馬の仏像盗難問題」です。つい最近の11月にも仏像窃盗未遂事件が起き、冷や水をかけられた思いでしたが、この問題は早く解消していただかなければなりません。ユネスコ記憶遺産に登録しようとしているのに、ユネスコ条約違反状態（ユネスコの文化財の不正輸出入条約に抵触）となっているからです。喉にひっかかっている一本のトゲ。この矛盾を早く解消していただかなければ、対馬も存分な活動ができないのです。是非、皆様も声を上げていただくようお願いいたします。

対馬市は、その他にも関係機関とともに「朝鮮通信使行列再現」を大きな交流事業のコンテンツとして取り組んでいます。まず、「対馬厳原港まつり」での朝鮮通信使行列の再現です。今年は「こども通信使」もプラスして拡大して行う予定です。

次に、今年は家康公の没後400年の年でもあります。静岡市をはじめ家康公400年祭実行委員会は、9月に家康公のお膝元である静岡で、それも居城でもあった駿府城公園内で朝鮮通信使行列を再現されるそうです。対馬藩主宗義智公に命令された日朝修好のあかしを御前でご披露されます。

もう一つが、同時期に東京日比谷公園で開催される「日韓交流おまつり」です。東京のど真ん中である日比谷公園で朝鮮通信使行列の再現をし、このお祭りを盛り上げたいと考えています。もちろん行列の最後には国書交換式も実施しなければなりません。すでに実行委員会に要望書を提出させていただき、前向きに検討するというお返事を、呂民団中央本部副団長を通じて実行委員長からいただいているところです。

さてさて、いろいろと楽しそうなことばかりを書き連ねました。それもそのはずです。交流事業は楽しいことなのです。楽しいことをせずにはいられません。対馬という小さな島の大きな挑戦。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、皆様にとりまして幸多き年となることをお祈りいたします。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(11月総会時現在)

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	対馬市	観光交流商工課	対馬市厳原町国分1441
2	自治体	日光市教育委員会	文化財課	栃木県日光市中央町15-4
3	自治体	静岡市役所 生活文化局	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
4	自治体	大垣市役所	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
5	自治体	長浜市高月支所	地域振興課	滋賀県長浜市高月町渡岸寺160
6	自治体	近江八幡市役所 総合政策部	まちづくり支援課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
7	自治体	彦根市役所 企画振興部	企画課	滋賀県彦根市元町4-2
8	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
9	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
10	自治体	瀬戸内市役所	まちづくり推進課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
11	自治体	福山市教育委員会	文化課	広島県福山市東桜町3-5
12	自治体	呉市役所	観光振興課	広島県呉市中央6-2-9
13	自治体	上関町教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
14	自治体	下関市役所	市民文化課	山口県下関市南部町1-1
15	自治体	壱岐市教育委員会	文化財課	長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
16	自治体	白山市	文化財課	石川県白山市倉光2-1
17	団 体	青丘人権文化の会	八木勝子	大阪府門真市南野口町23-3
18	団 体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
19	団 体	かみのせき郷土史学習にんじや隊		山口県熊毛郡上関町室津549
20	団 体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-6
21	団 体	唐子踊保存会	会長 小竹正真	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓5013
22	団 体	芳洲会		滋賀県長浜市高月町雨森1166
23	団 体	朝鮮通信使行列振興会		長崎県対馬市厳原町国分1441
24	団 体	対馬芳洲会	小島武博	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
25	団 体	「静岡に文化の風を」の会	佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
26	団 体	日朝協会愛知県連合会		愛知県名古屋市中千種区小松町6-9-1
27	団 体	日朝協会神奈川県支部連合会		神奈川県横浜市神奈川区泉町14-6
28	団 体	唐辛子の会		静岡県伊東市池614-16
29	団 体	東京対馬会	幹事長 糸瀬敬一	東京都大田区大森中2-6-6
30	団 体	日朝協会東京都連合会		東京都千代田区三崎町2-11-13
31	団 体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
32	団 体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
33	団 体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
34	団 体	兵庫津・朝鮮通信使を知る会	尹 達世	兵庫県神戸市長田区腕塚町3-3-5
35	団 体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
36	団 体	呉史談会		広島県呉市西中央1-6-15-201
37	団 体	対馬観光物産協会		長崎県対馬市厳原町国分1441
38	団 体	(財) 蘭島文化振興財団		広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
39	団 体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール		東京都港区元麻布2-3-34
40	団 体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
41	団 体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
42	団 体	対州海運株式会社	松原一征	長崎県対馬市厳原町久田道1661
43	団 体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
44	団 体	株式会社 コミュニティメディア		長崎市出島町1番43号
45	団 体	在日本大韓国民団京都府地方本部	地方団長 王清一	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
46	団 体	鞆の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
47	団 体	ギンザ柳々舎	代表 梁 順喜	東京都中央区銀座3-11-1
48	団 体	川越唐人揃いパレード実行委員会		埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
49	団 体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
50	団 体	釜山素木會	会長 朴 洪圭	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92
51	団 体	朝鮮通信使地域史研究会	仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
52	団 体	相島歴史の会	事務局 今村公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
53	団 体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
54	団 体	NPO法人 日中韓から世界へ	代表 牛尾恵子	埼玉県狭山市水野646-6
55	団 体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呉 公太	東京都港区南麻布1-7-32
56	団 体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
57	団 体	静岡市商工会議所	会長 後藤康雄	静岡県静岡市葵区黒金町20-8

(個人)

No	種別	会 員 名	氏 名
58	個人	地域史研究部会	安 田 和 幸
59	個人	地域史研究部会	井 手 久美子
60	個人	地域史研究部会	井 上 敬 二
61	個人	地域史研究部会	井 上 正 一
62	個人	地域史研究部会	井 上 美登里
63	個人	地域史研究部会	永 留 史 彦
64	個人	地域史研究部会	塩 谷 朝 三
65	個人	地域史研究部会	奥 村 隆 幸
66	個人	地域史研究部会	岡 部 良 一
67	個人	地域史研究部会	加 堂 貞 幸
68	個人	地域史研究部会	丸 尾 とし子
69	個人	地域史研究部会	岩 川 龍 一
70	個人	地域史研究部会	吉 田 智 史
71	個人	地域史研究部会	橋 本 洋 一
72	個人	地域史研究部会	郷 司 泰 仁
73	個人	地域史研究部会	玉 貴 信 也
74	個人	地域史研究部会	金 洪 圭
75	個人	地域史研究部会	原 田 省 三
76	個人	地域史研究部会	原 田 共 子
77	個人	地域史研究部会	原 嶋 理恵子
78	個人	地域史研究部会	戸 田 和 吉
79	個人	地域史研究部会	呉 満
80	個人	地域史研究部会	高 正 晴 子
81	個人	地域史研究部会	轟 博 志
82	個人	地域史研究部会	佐々木 悦 也
83	個人	地域史研究部会	佐々木 正 行
84	個人	地域史研究部会	佐 川 昭
85	個人	地域史研究部会	佐 畠 儀 子
86	個人	地域史研究部会	三 宅 理 一
87	個人	地域史研究部会	山 口 久 範

No	種別	会 員 名	氏 名
88	個人	地域史研究部会	山 崎 富 代
89	個人	地域史研究部会	山 田 雄 彦
90	個人	地域史研究部会	市 山 等
91	個人	地域史研究部会	紙 上 勝 美
92	個人	地域史研究部会	篠 崎 寅 喜
93	個人	地域史研究部会	柴 村 敬次郎
94	個人	地域史研究部会	徐 賢 燮
95	個人	地域史研究部会	小 泉 和 夫
96	個人	地域史研究部会	小 田 章 恵
97	個人	地域史研究部会	小 椋 勉
98	個人	地域史研究部会	庄 野 伸十郎
99	個人	地域史研究部会	松 岡 睦 彦
100	個人	地域史研究部会	松 本 正 子
101	個人	地域史研究部会	上 月 香 澄
102	個人	地域史研究部会	上 西 法 子
103	個人	地域史研究部会	上 村 順 造
104	個人	地域史研究部会	信 原 修
105	個人	地域史研究部会	新 本 直 登
106	個人	地域史研究部会	仁 位 孝 雄
107	個人	地域史研究部会	杉 田 功
108	個人	地域史研究部会	西 谷 隆 行
109	個人	地域史研究部会	赤 石 英 夫
110	個人	地域史研究部会	千 葉 俊 樹
111	個人	地域史研究部会	浅 野 慎太郎
112	個人	地域史研究部会	村 田 景 昭
113	個人	地域史研究部会	村 田 ミチ工
114	個人	地域史研究部会	多 賀 俊 介
115	個人	地域史研究部会	中 尾 清
116	個人	地域史研究部会	中 野 悦 次
117	個人	地域史研究部会	中 蔦 玲 子

No	種別	会 員 名	氏 名
118	個人	地域史研究部会	中 澤 慶 輝
119	個人	地域史研究部会	仲 尾 宏
120	個人	地域史研究部会	町 田 一 仁
121	個人	地域史研究部会	長 岡 武 司
122	個人	地域史研究部会	蔦 村 和 雄
123	個人	地域史研究部会	坪 井 雄 一 郎
124	個人	地域史研究部会	田 中 解 子
125	個人	地域史研究部会	島 祐 二 郎
126	個人	地域史研究部会	島 津 義 昭
127	個人	地域史研究部会	藤 本 弘 子
128	個人	地域史研究部会	梅 本 明 則
129	個人	地域史研究部会	八 木 静 恵
130	個人	地域史研究部会	夫 学 柱
131	個人	地域史研究部会	武 内 禎 子
132	個人	地域史研究部会	福 永 知 佐 子
133	個人	地域史研究部会	福 田 浩 一
134	個人	地域史研究部会	米 田 仁
135	個人	地域史研究部会	片 山 真 理 子
136	個人	地域史研究部会	芳 村 笙 子 (子供2人)
137	個人	地域史研究部会	北 村 久 代
138	個人	地域史研究部会	北 村 欽 哉
139	個人	地域史研究部会	堀 ち ず 子
140	個人	地域史研究部会	堀 田 広 治
141	個人	地域史研究部会	末 本 雛 子
142	個人	地域史研究部会	藁 田 俊 輔

No	種別	会 員 名	氏 名
143	個人	地域史研究部会	柳 永 烈
144	個人	地域史研究部会	柳 原 一 興
145	個人	地域史研究部会	鈴 木 英 夫
146	個人	地域史研究部会	鈴 木 真 弓
147	個人	地域史研究部会	和 田 佐 喜 男
148	個人	地域史研究部会	尹 芝 恵
149	個人	地域史研究部会	尹 大 辰
150	個人	地域史研究部会	盧 桂 順
151	個人	地域史研究部会	齋 藤 健 司
152	個人	地域史研究部会	寛 真 理 子
153	個人	地域史研究部会	裏 順 姫
154	個人	個人会員	原 田 令 嗣
155	個人	個人会員	高 田 好 浩
156	個人	個人会員	山 梨 涉
157	個人	個人会員	神 谷 敏
158	個人	個人会員	盛 月 寿 美
159	個人	個人会員	前 林 孝 一 良
160	個人	個人会員	早 川 育 子
161	個人	個人会員	村 上 和 弘
162	個人	個人会員	大 賀 正 行
163	個人	個人会員	渡 辺 泰 子
164	個人	個人会員	萩 原 昭 一
165	個人	個人会員	鈴 木 宏 久
166	個人	個人会員	蓮 池 章 平

誠信交隣 21

縁地連だより No.18

発行日 2015年(平成27年)3月31日

発 行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-53-6112

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印 刷 (資)厳原印刷所



2014年11月 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 川越